

船舶事故等調査報告書

平成24年10月25日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012横第38号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成24年1月14日 15時30分ごろ	
発生場所	静岡県焼津市大井川港公共前浜岸壁 大井川港南防波堤灯台から真方位285°980m付近 (概位 北緯34°46.8' 東経138°17.7')	
事故等調査の経過	平成24年3月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 引船 第二十一 ^{やまと} 大和丸、19トン 242-12223静岡、有限会社大和 B 土運船 68 ^{どうん} 土運船 なし、株式会社関西港湾工業	
乗組員等に関する情報	A 船長A、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者	なし	
損傷	A船 左舷船尾外板及び右舷えい航索擦れ止め（アーチ型のパイプ）に凹損 B船 なし	
事故等の経過	A船は、船長Aが1人で乗り組み、同乗者1人を乗せ、B船をえい航して大井川港公共前浜岸壁西側に左舷着けとする着岸作業中、A船が風により圧流され、平成24年1月14日15時30分ごろA船の左舷船尾部とB船の右舷船首部とが衝突し、更にA船の右舷側えい航索擦れ止めとB船の船首錨が衝突した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風力 5 海象：潮汐 上げ潮の初期	
その他の事項	B船は、いつもより前進の行きあしがあつたため、A船との間隔が狭くなっていた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり A船は、B船をえい航して大井川港公共前浜岸壁西側に左舷着けとする着岸作業中、B船に前進の行きあしがあり、A船との間隔が狭くなっていたところ、A船が風により圧流されたことから、両船が衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、A船が、B船をえい航して大井川港公共前浜岸壁西側に左舷着けとする着岸作業中、B船に行きあしがあり、A船との間隔が狭くなっていたところ、A船が風により圧流されたため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。	

